

今後の医療提供体制等の検討（論点骨子）

先月公表した「新型コロナウイルス感染症に係る東京都の取組」を踏まえるとともに、専門家と意見交換を行いながら、今後の医療提供体制等を検討

検討に当たっての前提

オミクロン株（亜系統含む）による感染再拡大

感染拡大のスピードは速いが、**重症化・死亡リスクは相対的に低い**

検査体制を強化し、必要な**医療提供体制を確保**している

ワクチン3回目接種が進捗している

検討の方向性

感染拡大防止と社会経済活動の両立を図り、

「重症者・死亡者の発生」及び「医療提供体制のひっ迫」を防ぐことを目的に、
将来を見据えて**対策を講じる**

将来的な法令や諸制度の改正も視野

これまでの取組と今後の方向性（論点骨子） 1/2

専門家を含めた体制とモニタリング・サーベイランス

- ・モニタリング会議、東京iCDCなど専門家を含めた健康危機管理体制を構築 → 体制を発展
- ・感染拡大や変異株に備えて監視体制を強化（新たな変異株PCR検査を開始） → 継続

検査、診断・フォローアップ

- ・検査体制の大幅拡充、診療・検査医療機関の拡大・公表、健康観察・フォローアップ体制・保健所支援の強化、自宅療養支援体制の強化
- 診療・検査医療機関をさらに拡大、検査体制は当面維持、健康観察は当面現行体制を維持

医療・療養体制

- ・病床確保レベルの先手先手での引上げ、感染症法に基づく要請の実施等により迅速に必要な病床を確保。入院調整本部等を設置し円滑に調整を実施
- コロナ医療と通常医療の両立を推進
- ・酸素・医療提供ステーション、高齢者・妊婦向けの臨時的医療施設など、感染状況やウイルスの特性に応じた必要な医療提供体制を確保
- 高齢者など重症化リスクの高い方への対策を重点的に実施。経口薬は、将来、一般流通化

これまでの取組と今後の方向性（論点骨子） 2/2

感染拡大防止

- ・ **高齢者・障害者入所施設の感染拡大防止への支援**（専用相談窓口を設置、即応支援チームを派遣）
➡ **ハイリスク施設への対応継続・拡充**（高齢者施設での陽性者発生前研修の拡充等）
- ・ **ワクチン接種の積極的な推進**（ワクチンチーム、都大規模接種会場の運営）
➡ **4回目接種の推進**
- ・ **感染拡大期には飲食店への時短要請等により、感染リスクの高い時間や場所を回避**
➡ **基本的な感染防止策の徹底**を呼びかけ
➡ 医療のひっ迫が見込まれる場合は、**専門家の意見を踏まえ、更なる対策を検討**
- ・ **一都三県による呼びかけの強化**
➡ **継続**